



## 2025年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社ケイブ 上場取引所 東  
コード番号 3760 URL <http://www.cave.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 秋田 英好  
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役CFO（氏名） 伊藤 裕章（TEL）03-6820-8176  
半期報告書提出予定日 2025年1月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年6月1日～2024年11月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	6,363	23.5	452	△23.0	329	△41.3	451	△38.1	396	△35.3
2024年5月期中間期	5,152	838.0	588	—	560	—	729	—	612	△47.2

（注）包括利益 2025年5月期中間期 376百万円（△43.1%） 2024年5月期中間期 662百万円（—%）

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	65.77	62.85
2024年5月期中間期	102.52	92.42

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期中間期	13,938	7,282	38.4
2024年5月期	14,357	6,786	34.9

（参考）自己資本 2025年5月期中間期 5,352百万円 2024年5月期 5,006百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年5月期	—	0.00	—	—	—
2025年5月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

2025年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料4ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) 株式会社サクセスプラ、除外 1社(社名) 株式会社モッド  
ス

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年5月期中間期	6,693,500株	2024年5月期	6,693,500株
2025年5月期中間期	668,297株	2024年5月期	668,297株
2025年5月期中間期	6,025,203株	2024年5月期中間期	5,976,617株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・2025年5月期の業績予想につきましては、前述のとおり記載しておりません。本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	8
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(自2024年6月1日至2024年11月30日)におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰や急激な為替変動および高い金利水準の継続による景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、当中間連結会計期間に株式会社サクセスプラスを新たに連結子会社とし、中長期的な収益創出プロセスを確立するとともに、株式会社テレビ朝日と共同で出資をいたしました制作委員会においては新作スマートフォンゲーム「メテオアリーナ」を9月にリリースし、各事業基盤の強化、拡大を図りながら、グループ各社のシナジーの追求による成長促進、株主価値の向上を目指した取り組みを進めて参りました。

	前中間連結会計期間 (自2023年6月1日 至2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年6月1日 至2024年11月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	5,152	6,363	23.5%
営業利益(百万円)	560	329	△41.3%
経常利益(百万円)	729	451	△38.1%
親会社株主に帰属する中間 純利益(百万円)	612	396	△35.3%

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高6,363百万円(前年同期比23.5%増)、営業利益329百万円(前年同期比41.3%減)、経常利益451百万円(前年同期比38.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益396百万円(前年同期比35.3%減)となりました。

当中間連結会計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

## 1. ゲーム事業

「東方幻想エクリプス」につきましては、10月20日に開催した「第十一回博麗神社秋季例大祭」に出展し、キャラクターイラストを使用したグッズ販売や試遊コーナーを設置する等、ゲームの認知度の向上に努め、例大祭に合わせたキャンペーン施策を実施しました。魅力的な商材がユーザーの課金動機となり、想定を上回る売上となりました。11月22日には、リリース1周年を迎え、アニバーサリー施策の実施によりPlayUUの増加につながりました。今後もユーザーの皆様へ長くお楽しみいただけるコンテンツとなるよう施策を続けてまいります。

「ゴシックは魔法乙女～さっさと契約しなさい!～」においては、「虫姫さま」の20周年を記念したキャラクターや「エスプガルーダⅡ」とのコラボイベントなど、自社IPを使った施策を展開いたしました。また、上記、例大祭への出展に合わせて、「ゲンリブ」コラボの復刻キャンペーンを実施し、大きく売上を伸ばしております。今後もイベントでの新たな体験を通して、顧客満足度向上に努めて参ります。

連結子会社である株式会社でらゲーでは、主要ゲームである「モンスターストライク」が、2024年10月時点の世界累計利用者数が6,300万人を突破し、引き続き当社グループの売上に大きく貢献しております。2025年2月に7周年を迎える「キングダム乱-天下統一への道-」は、新作映画の公開や強力なIPの影響により安定的に売上を創出しており、7周年に向けて新たなイベント施策を準備しております。

2024年9月18日にリリースをいたしました「メテオアリーナ」は、ユーザーの皆様からのご意見やレビューにより課題となっている部分については、修正のアップデートを実施しております。今後、ユーザーの皆様により楽しんで頂けるタイトルを目指し、改修の準備を進めております。プロモーション活動につきましては、株式会社テレビ朝日と共同で進めており、テレビ番組やオフラインイベントの開催等、ゲームの状況に合わせて、多彩なPRを展開していきます。2025年春からは、小学館の「月刊コロコロコミック」にて、漫画の連載が開始する予

定です。今後も効果的な広告戦略の実施により、ユーザーの獲得、認知度向上、エンゲージメントの強化を行って参ります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	5,028	5,799	15.3%
セグメント利益(百万円)	596	305	△48.8%

この結果、ゲーム事業セグメントにおける売上高は5,799百万円(前年同期比15.3%増)となり、セグメント利益は305百万円(前年同期比48.8%減)となりました。

## 2. 動画配信関連事業

連結子会社である株式会社capableのライブ配信事業、YouTube事業の各事業につきましては、業務フローの効率化によりコスト削減を実施し、利益率の向上を図ることで、引き続き一定の利益を確保しております。

新たな成長戦略の一環として参入いたしました店舗事業に関しましては、市場調査とターゲットの絞り込み、トレンドのキャッチアップを行い、スタッフ教育や組織体制の見直しにより店舗クオリティの向上に努めるとともに、capableの得意とするオンラインマーケティングの強化により、顧客の獲得、ビジネス機会の拡大を目指して取り組んでおります。

また、第1四半期に連結子会社といたしました株式会社サクセスプラスにつきましては、受託案件が想定通りに推移し、当第2四半期においても引き続き、のれん償却費を上回る利益となり、当社グループに貢献しております。

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	124	564	354.9%
セグメント利益(百万円)	△36	23	—

以上の結果、動画配信関連事業セグメントにおける売上高は564百万円(前年同期比354.9%増)となり、セグメント利益は23百万円(前年同期はセグメント損失36百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ418百万円減少し13,938百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金5,360百万円、売掛金1,016百万円、未収入金568百万円、ソフトウェア1,856百万円、ソフトウェア仮勘定1,629百万円、投資有価証券971百万円、長期貸付金773百万円、保険積立金460百万円であります。

#### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて915百万円減少し6,655百万円となりました。主な内訳は、買掛金754百万円、未払金1,007百万円、未払費用210万円、長期借入金959百万円、長期未払金2,804百万円、繰延税金負債315百万円であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて496百万円増加し7,282百万円となりました。主な内訳は、資本金182百万円、資本剰余金623百万円、利益剰余金5,595百万円、自己株式△1,202百万円、新株予約権1,083百万円、非支配株主持分845百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、5,352百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、73百万円(前中間連結会計期間は876百万円の資金の減少)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益399百万円に現金支出を伴わない減価償却費103百万円が含まれ、仕入債務の増加額44百万円、未収入金の減少額100百万円、未払消費税の増加額41百万円の収入要因がありましたが、売上債権の増加額30百万円、未払費用の減少額70百万円、法人税等の支払額379百万円の支出要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、1,221百万円(前中間連結会計期間は660百万円の資金の減少)となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入358百万円、短期貸付金の減少額27百万円、貸付金の回収による収入86百万円の収入要因と連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出779百万円、無形固定資産の取得による支出896百万円、出資金の払込による支出99百万円、長期貸付けによる支出12百万円の支出要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、270百万円(前中間連結会計期間は16百万円の資金の増加)となりました。これは主に、長期借入による収入260百万円、非支配株主からの払込による収入210百万円の収入要因がありましたが、長期借入金の返済による支出109百万円、配当金の支払額90百万円の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の連結業績予想については、現時点でグループ全体での合理的かつ信頼性のある業績予想の算定及び公表が困難であると考え、引き続き非開示としております。今後、適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能になり次第、業績予想を速やかに開示することといたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,341,863	5,360,565
売掛金	905,112	1,016,950
棚卸資産	51,415	99,738
未収入金	687,772	568,971
その他	568,639	508,424
流動資産合計	8,554,804	7,554,649
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	76,732	83,608
工具、器具及び備品(純額)	96,898	149,910
土地	2,999	2,999
有形固定資産合計	176,630	236,518
無形固定資産		
のれん	-	180,022
ソフトウェア	383,454	1,856,299
ソフトウェア仮勘定	2,360,486	1,629,627
その他	1,240	1,240
無形固定資産合計	2,745,181	3,667,188
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035,029	971,531
長期貸付金	875,841	773,310
関係会社長期貸付金	332,770	332,270
保険積立金	737,784	460,073
繰延税金資産	41,939	45,074
その他	506,637	552,540
貸倒引当金	△649,381	△654,419
投資その他の資産合計	2,880,620	2,480,382
固定資産合計	5,802,432	6,384,089
資産合計	14,357,237	13,938,738

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	680,030	754,113
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	152,724	216,442
未払金	1,077,216	1,007,133
未払費用	347,140	210,655
未払法人税等	360,796	101,624
未払消費税等	89,127	43,993
契約負債	171,733	83,960
その他	88,486	93,769
流動負債合計	3,027,254	2,571,692
固定負債		
長期借入金	771,199	959,514
長期未払金	3,400,000	2,804,652
繰延税金負債	368,462	315,758
その他	4,107	4,310
固定負債合計	4,543,769	4,084,234
負債合計	7,571,023	6,655,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,136	182,136
資本剰余金	623,088	623,088
利益剰余金	5,289,902	5,595,822
自己株式	△1,202,062	△1,202,062
株主資本合計	4,893,065	5,198,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,585	△7,153
為替換算調整勘定	105,529	161,135
その他の包括利益累計額合計	113,114	153,982
新株予約権	1,083,939	1,083,939
非支配株主持分	696,093	845,903
純資産合計	6,786,213	7,282,811
負債純資産合計	14,357,237	13,938,738

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	5,152,238	6,363,890
売上原価	2,982,686	3,966,297
売上総利益	2,169,552	2,397,593
販売費及び一般管理費	1,609,309	2,068,491
営業利益	560,242	329,101
営業外収益		
受取利息	12,500	16,916
匿名組合投資利益	30,662	167,691
貸倒引当金戻入額	201,380	-
保険解約返戻金	-	81,209
その他	28,739	18,635
営業外収益合計	273,283	284,454
営業外費用		
支払利息	28,038	27,731
為替差損	9,361	98,788
減価償却費	40,546	-
その他	26,083	35,334
営業外費用合計	104,030	161,854
経常利益	729,495	451,701
特別利益		
固定資産売却益	10,289	9,858
特別利益合計	10,289	9,858
特別損失		
関係会社出資金評価損	-	51,819
関係会社株式評価損	-	10,000
特別損失合計	-	61,819
税金等調整前中間純利益	739,784	399,739
法人税、住民税及び事業税	43,137	102,667
法人税等調整額	91,670	△38,971
法人税等合計	134,807	63,696
中間純利益	604,976	336,043
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△7,754	△60,255
親会社株主に帰属する中間純利益	612,730	396,298

## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純利益	604,976	336,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,125	△14,738
為替換算調整勘定	30,110	55,606
その他の包括利益合計	57,236	40,867
中間包括利益	662,212	376,910
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	669,966	437,165
非支配株主に係る中間包括利益	△7,754	△60,255

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	739,784	399,739
減価償却費	70,865	103,610
のれん償却額	—	20,002
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△192,943	4,906
受取利息及び受取配当金	△15,983	△22,321
支払利息	28,038	27,731
為替差損益(△は益)	△7,098	13,586
持分法による投資損益(△は益)	△1,431	—
匿名組合投資損益(△は益)	△30,662	△167,691
保険解約返戻金	—	△81,209
固定資産売却損益(△は益)	△10,289	△9,858
関係会社株式評価損	—	10,000
関係会社出資金評価損	—	51,819
売上債権の増減額(△は増加)	251,061	△30,779
棚卸資産の増減額(△は増加)	△781	△14,906
未収入金の増減額(△は増加)	△130,719	100,759
仕入債務の増減額(△は減少)	△312,806	44,215
未払金の増減額(△は減少)	△89,804	△40,389
未払費用の増減額(△は減少)	△23,947	△70,076
未払消費税等の増減額(△は減少)	△375,654	41,036
未払法人税等の増減額(△は減少)	△16,940	4,656
その他の資産の増減額(△は増加)	△135,652	106,763
その他の負債の増減額(△は減少)	85,286	△107,836
小計	△169,680	383,756
利息及び配当金の受取額	12,652	17,637
利息の支払額	△5,349	△95,190
法人税等の支払額	△713,740	△379,961
法人税等の還付額	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△876,117	△73,757

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,730	△89,707
無形固定資産の取得による支出	△793,067	△896,568
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△779,154
出資金の払込による支出	△69,585	△99,445
出資金の回収による収入	—	153,519
保険積立金の解約による収入	156,959	358,920
短期貸付金の増減額(△は増加)	90,345	27,449
長期貸付けによる支出	△126,213	△12,000
貸付金の回収による収入	87,825	86,626
その他	732	29,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	△660,734	△1,221,297
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	19,739	260,000
長期借入金の返済による支出	△72,835	△109,160
新株予約権の行使による収入	70,391	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	210,065
配当金の支払額	—	△90,378
その他	△887	△526
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,407	270,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,452	43,077
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,492,991	△981,976
現金及び現金同等物の期首残高	6,380,114	6,334,610
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,887,122	5,352,633

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の著しい変動

当社は、新株予約権の権利行使に伴う新株の発行により、当中間連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ82,136千円増加しました。

また、2023年9月1日付で資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行ったことにより、資本金が1,978,622千円、資本剰余金が537,658千円をそれぞれ減少し、利益剰余金が2,516,280千円増加しました。これらの結果、当中間連結会計期間末において、資本金は182,136千円、資本剰余金は599,714千円となっております。

当中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2024年 8月30日 定時株主総会	普通株式	繰越利益剰余金	90	15円00銭	2024年 5月31日	2024年 8月31日

## 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,028,077	124,160	5,152,238	—	5,152,238
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,028,077	124,160	5,152,238	—	5,152,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,028,077	124,160	5,152,238	—	5,152,238
セグメント利益	596,332	△36,089	560,242	—	560,242

(注)セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,799,122	564,768	6,363,890	—	6,363,890
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,799,122	564,768	6,363,890	—	6,363,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,799,122	564,768	6,363,890	—	6,363,890
セグメント利益	305,127	23,973	329,101	—	329,101

(注)セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当中間連結会計期間に、株式会社サクセスプラスの全株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことにより、当中間連結会計期間における「動画配信関連事業」セグメント資産が、前連結会計年度末に比べ、344,357千円、報告セグメントに帰属しない全社資産が119,241千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間に、「動画配信関連事業」において、株式会社サクセスプラスの株式を取得したことにより、のれんが180,022千円増加しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2024年5月20日開催の取締役会において、株式会社サクセスプラスの全株式を取得し、子会社化に向けた基本合意書に関する決議をいたしました。これにより、2024年6月24日付で株式会社サクセスプラスの株主との間で、株式譲渡契約を締結し、2024年6月28日に株式を取得いたしました。

## 1. 企業結合の概要

## ①被取得企業の概要

被取得企業の名称 株式会社サクセスプラス

事業の内容

1. コンピュータソフトウェアの企画、開発、販売、賃貸、輸出入
2. インターネットを利用したホームページの企画、開発、販売、運営
3. コンピュータソフトウェア著作権の管理、使用許諾、輸出入、販売

## ②企業結合を行った主な理由

株式会社サクセスプラスが、大手企業からの継続的な受注を獲得していることから、連結グループに加えた場合に、当社グループの安定的な成長に資するものであると考えたためであります。

## ③企業結合日

2024年6月28日

## ④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## ⑤企業結合後の企業の名称

変更はありません。

## ⑥取得する議決権比率

100%

## ⑦取得企業を決定するに至った根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによります。

## 2. 中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年6月1日から2024年11月30日まで

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価(現金)	232,000千円
取得原価	232,000千円

## 4. アドバイザリー他に対する報酬・手数料等

17,084千円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ①発生したのれん金額

200,024千円

なお、のれん金額は、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## ②発生原因

取得原価が企業結合時の時価純資産額を上回ったことによるものです。

## ③償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	171,262千円
固定資産	<u>42,644千円</u>
資産合計	<u>213,907千円</u>
流動負債	110,225千円
固定負債	<u>71,706千円</u>
負債合計	<u>181,931千円</u>

(重要な後発事象)

該当事項はありません。